



2026年9月14日

各 位

会 社 名 株式会社 土屋ホールディングス
代表者名 代表取締役社長 土屋 昌三
(コード: 1840 東証スタンダード・札証)
問合せ先 取締役経営企画部長 上諏訪 広
(TEL. 011-717-5556)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、2025年12月15日に公表した2026年10月期(2025年11月1日～2026年10月31日)の業績予想を、下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 通期業績予想の修正について

(1) 2026年10月期通期連結業績予想数値の修正(2025年11月1日～2026年10月31日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰 属 する 当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前回発表予想(A)	百万円 35,000	百万円 400	百万円 400	百万円 260	円 銭 10.08
今回修正予想(B)	33,500	0	0	0	0.00
増 減 額 (B - A)	△1,500	△400	△400	△260	—
増 減 率 (%)	△4.3	△100.0	△100.0	△100.0	—
(ご参考)前期連結実績 (2025年10月期)	31,456	△122	△95	△93	△3.66

(2) 修正の理由

当社は、通期業績について精査した結果、売上高及び各段階利益が前回公表予想を下回る見込みであります。住宅事業においては、住宅取得価格及び住宅ローン金利の上昇を背景に、お客様の住宅取得に対する慎重な姿勢が継続いたしました。また、WEBマーケティング戦略の実行が当初計画より遅れたことから、見込み顧客の獲得及び商談件数が減少し、注文住宅の受注棟数が当初計画を下回りました。これに伴い、当期における引渡棟数も当初計画を下回る見込みであります。

加えて、期初計画策定後に中東情勢が緊迫化し、石油化学製品等の供給不安定化や価格上昇、一部の建築資材の納期遅延に伴い、住宅の工期が長期化いたしました。

こうした受注棟数の計画未達及び住宅の工期の長期化が重なったことから、住宅事業の売上高及び営業利益は当初計画を下回る見込みであります。

リフォーム事業においては、当社の強みである大型リフォームの受注が減少したことなどにより、受注高及び売上高が当初計画を下回っております。更に、一部の大型リフォームにおいて追加対応に伴う原価が発生し、採算性が低下したことなどから売上総利益率も当初計画を下回って推移しており、営業利益についても当初計画を下回る見込みであります。

以上の結果、販売費及び一般管理費の削減を進めたものの、住宅事業及びリフォーム事業における売上高及び売上総利益の減少による影響を補うには至らず、売上高及び各段階利益の達成が厳しく、通期連結業績予想を修正いたします。

なお、期末配当予想につきましては、2025年12月15日に公表したとおり、1株当たり10円に据え置きます。

※本資料の予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上